

(3) 自動車排出ガスの種類

自動車から発生する排出ガスについては、エンジンの種類等によって異なるが、表3のようになる。

表3 自動車排出ガスの種類

排出ガスの種類	発生原因	発生するエンジンの種類	備考
排気ガス	エンジン内で燃料（ガソリン、LPG、軽油等）が燃焼する結果発生する。	すべてのエンジン	
ブローバイガス	エンジンの圧縮行程や燃焼行程で、燃料ガスの一部が、クランクケース内に吹き抜けることにより発生する。	ガソリンエンジン（4サイクルのみ。但し、LPG車も含む）	ブローバイガス還元装置の義務付け（昭和45年9月）
燃料蒸発ガス	燃料タンクや気化器から、燃料が蒸発して発生する。	ガソリンエンジン（但し、LPG車からは発生しない）	蒸発ガス防止装置の義務付け（昭和47年7月）

その他に、自動車の運行に伴うブレーキ、クラッチ、タイヤの磨耗による粒子状物質の飛散や巻き上げ粉塵もある。また、自動車排出ガス中には一酸化炭素（CO）、炭化水素（HC）、窒素酸化物（NOx）、粒子状物質（PM）等の大気汚染物質が含まれており、大気汚染防止法では自動車が一定の条件で走行する場合に排出する汚染物質の許容限度を定めている。